

**製品名: KIF7 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM84937**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC, ICC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.5% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:50-1:100, ICC 1:50-1:200
分子量	/

**抗原情報**

遺伝子名	KIF7
別名	kinesin like protein KIF7; EQYK340; kif7
遺伝子 ID	374654.0
SwissProt ID	Q2M1P5
免疫原	Kif 7 の合成ペプチド

**背景**

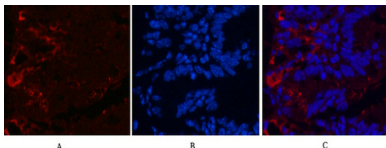
ヘッジホッグシグナル伝達制御に必須: ソニックヘッジホッグ (Shh) 経路とインディアンヘッジホッグ (Ihh) 経路の負と正の両方

の調節因子として機能し、SUFU 依存性および非依存性の両方のメカニズムを介して SMO の下流に作用します (PubMed: 21633164)。微小管ダイナミクスの制御に関与しています。繊毛先端の適切な組織化と SUFU-GLI2 複合体の繊毛局在の制御に必要です。Shh に応答して GLI3 が繊毛に局在するために必要です。リガンドの非存在下で転写活性化因子 GLI2 が不適切に活性化されるのを防ぐことで、Shh シグナル伝達を負に制御します。転写因子 GLI3 がリプレッサー型に処理されるのを防ぐことで、Shh シグナル伝達を正に制御します。ケラチノサイトでは、SUFU-GLI2 複合体の解離、GLI2 の核内移行および Shh シグナル伝達の活性化を促進します。表皮分化と軟骨細胞の発達の調節に関与します。

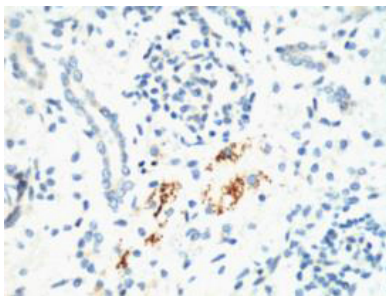
## 研究分野

-

## 画像データ



KIF7 抗体 (赤) と DAPI (青) を使用したマウス結腸における KIF7 の免疫蛍光分析。



KIF7 抗体を使用したパラフィン包埋マウス腎臓組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。